

◆ 今週のコメント

- ・インフルエンザの報告が1例(6ヶ月～11ヶ月)で、今シーズン初めての報告です。
- ・RSウイルス感染症の定点当たり報告数は0.07(3例, 0ヶ月～5ヶ月, 6ヶ月～11ヶ月, 2歳)で、第40週以降連続して報告があります。冬季に報告が増加する傾向がありますので、今後の動向にご注意ください。
- ・百日咳の報告が2例(1歳, 5歳)で、本年の累積報告数は29例です。過去7年間(平成12年～18年)の同時期までの累積報告数(12～33例)と比べると、平成12年に次いで、多くなっています。
- ・腸管出血性大腸菌感染症の報告が2例(第40週追加分含む)あります。本年の累積報告数は53例で、過去7年間(平成12年～18年)の同時期までの累積報告数(28～51例)と比べて、最も多くなっています。

◆ 今週のトピックス:〈レジオネラ症〉

- ・レジオネラ症の報告が1例あります。本年の累積報告数は13例で、全数報告感染症の対象となった平成11年4月以降の年報告数(0～8例)と比べて、最も多くなっています。詳細は、トピックスに掲載しています。

◆ 麻しんの発生件数の把握について

- ・市内全医療機関を対象とした麻しん(成人麻しんを含む。)の報告数は、今週はありませんでした。これまでの累積件数については、別紙に掲載しています。

◆ 発生状況

全数報告の感染症

- ・二類:結核 9例(喀痰塗抹陽性 2例)【今年度累積報告数 260例(喀痰塗抹陽性 79例)】
- ・三類:腸管出血性大腸菌感染症(O157 VT2) 2例(第40週追加分含む)
- ・四類:レジオネラ症(肺炎型) 1例

定点報告の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.01	1
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	3.22	132
	② 水痘	0.56	23
	③ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.49	20
	④ 突発性発しん	0.24	10
	⑤ 手足口病	0.10	4
	⑤ ヘルパンギーナ	0.10	4
眼科	⑤ 流行性耳下腺炎	0.10	4
	流行性角結膜炎	0.80	8

病原体情報

(検体名は、紙面の都合上、咽頭ぬぐい液をNP, 糞便をFC, 髄液をSF, 尿をURと略す。)

検出病原体(報告数)	臨床診断名(採取週)	検体名	検出病原体(報告数)	臨床診断名(採取週)	検体名
コクサッキーウイルスB2型(2)	感染性胃腸炎(第41週) 急性脳症(第37週)	FC	エコーウイルス30型(1)	不明熱(第41週)	SF

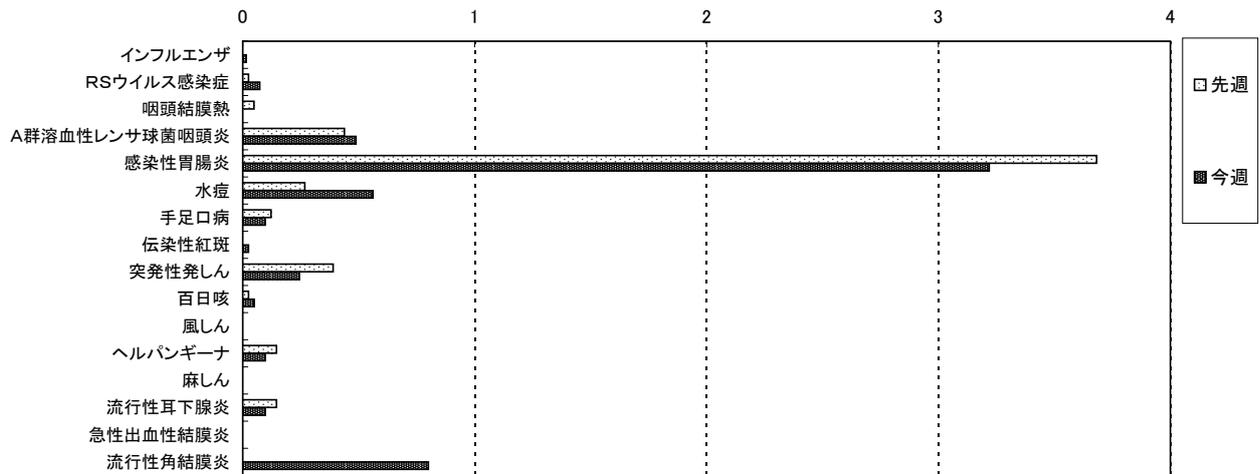
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス:〈レジオネラ症〉 / 京都市麻しん全数発生報告付表(疾病, 保健所別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

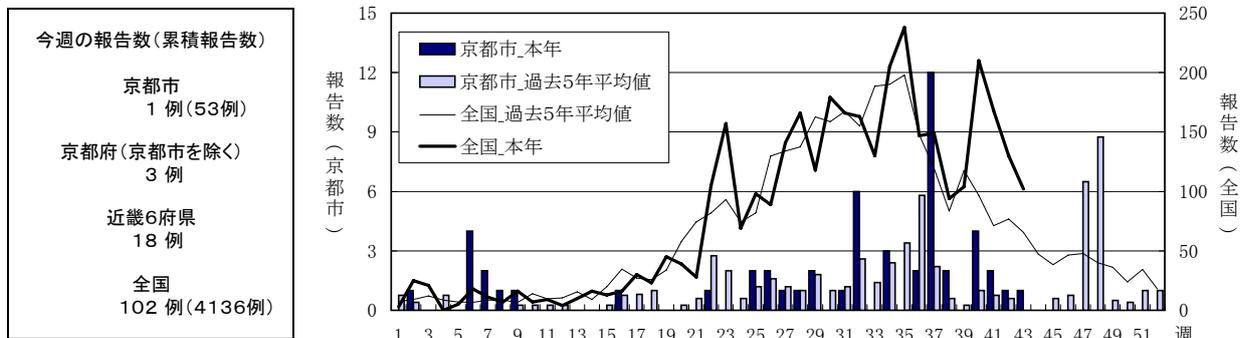
(注) 京都市のデータは、平成19年11月6日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。また、本情報での患者数は、届出医療機関所在の保健所での集計で、患者の住所を示すものではありません。病原体情報は、病原体定点等から京都市衛生公害研究所へ搬入された検体から検出された病原体です。

◆ 発生状況の概況グラフ

1 今週(第43週)と先週(第42週)の定点当たり報告数の比較

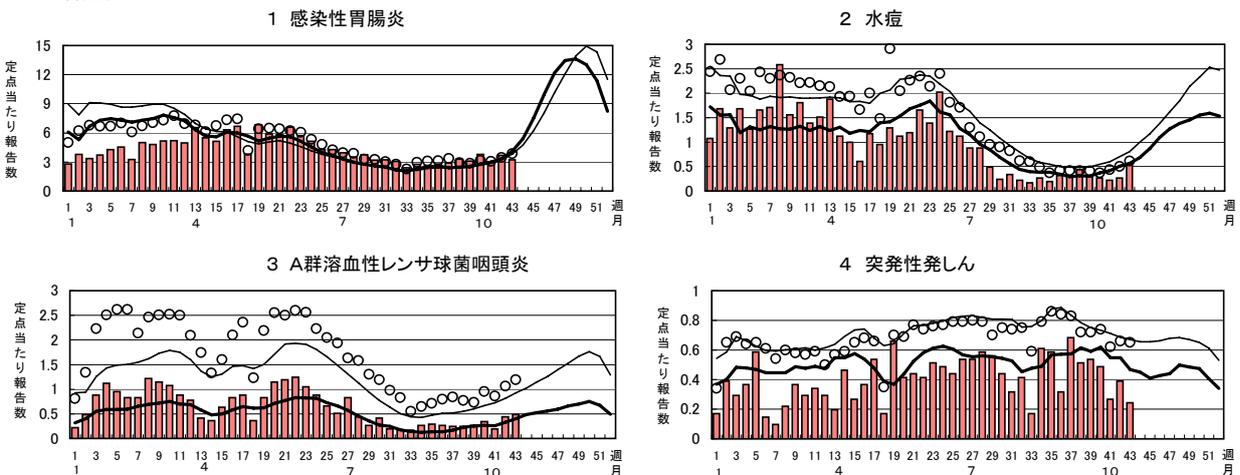


2 腸管出血性大腸菌感染症(三類感染症)の推移

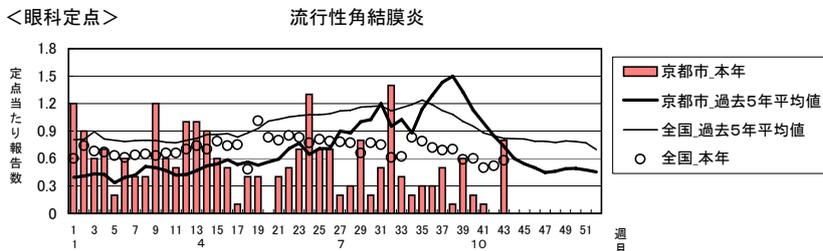


3 主な感染症(小児科)の定点当たり報告数の推移

<小児科定点>



<眼科定点>



今週(第43週)のトピックス:〈レジオネラ症〉

本年の累積報告数は13例で、7月(第29週)には、本症が全数報告感染症の対象となった平成11年4月以降の年報告数(0~8例)を超える9例目の報告がありました。全国でも過去最高となっています。届出数が増加した理由の一つとしては、尿中抗原検査法の普及による診断率の向上が考えられます。

本市の平成11年4月~本年第43週までの報告を推定感染経路別にみると、水系感染が約3割を占めています。

性別では、本市、全国ともに男性が80%以上を占めており、年齢階級別では、ともに50歳以上が90%以上を占めていますが、本市では、特に60歳代での報告が最も多くなっています。

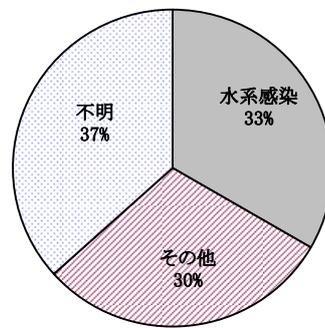
本年の都道府県別罹患率をみると、富山県、石川県の順に多く、近畿圏では京都府(14例)が最も多くなっています。

診断年推移

	本市	全国
平成11年4月~	0	56
平成12年	0	154
平成13年	1	86
平成14年	2	167
平成15年	3	146
平成16年	1	161
平成17年	2	281
平成18年	8	429
平成19年(第43週まで)	13	530
計	30	2,010

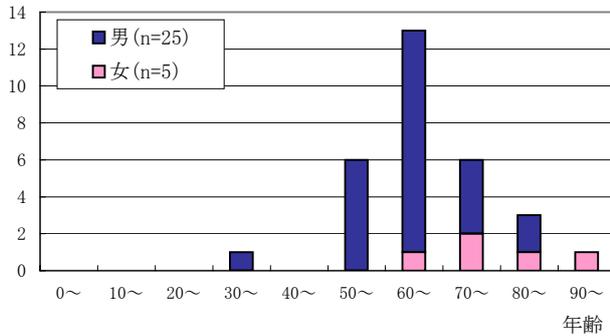
推定感染経路別構成割合

(本市, 平成11年4月~平成19年43週まで, n=30)



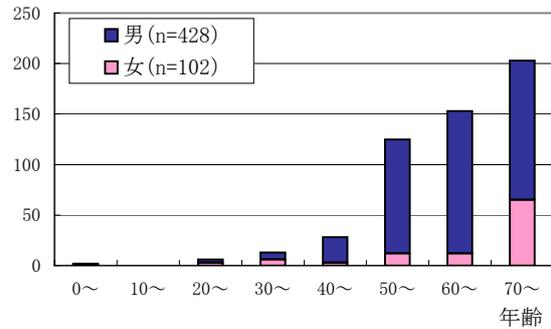
性別, 年齢階級別報告数(本市, 平成11年4月~平成19年43週まで)

(報告数, n=30)

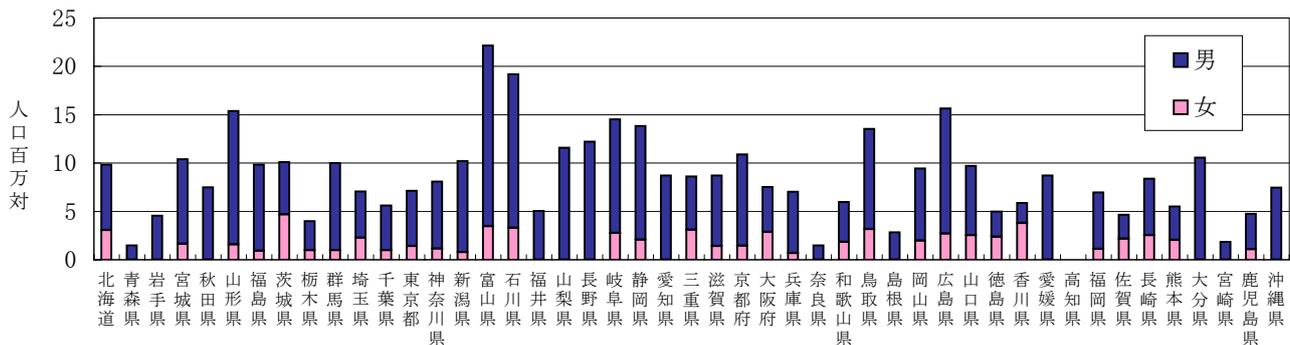


性別, 年齢階級別報告数(全国, 平成19年第1週~43週まで)

(報告数, n=530)



都道府県別罹患率(平成19年第1週~43週まで, n=530)



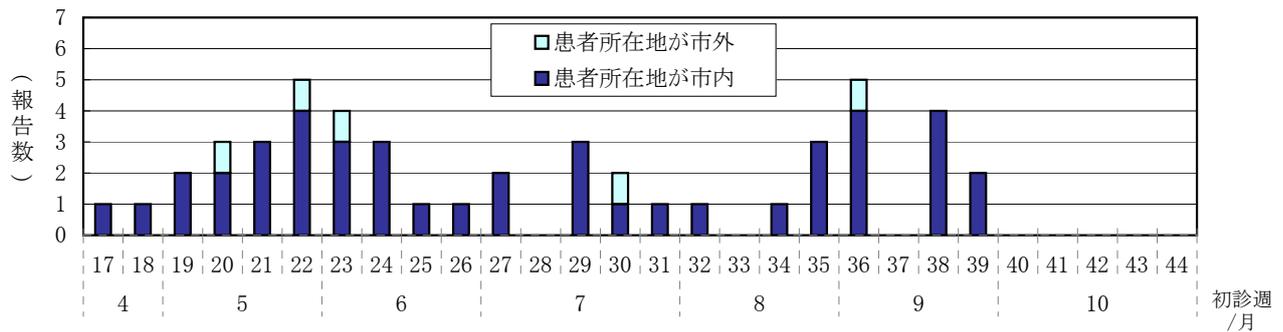
※ 都道府県別人口は平成18年10月1日現在のものを使用

京都市麻しん全数発生報告

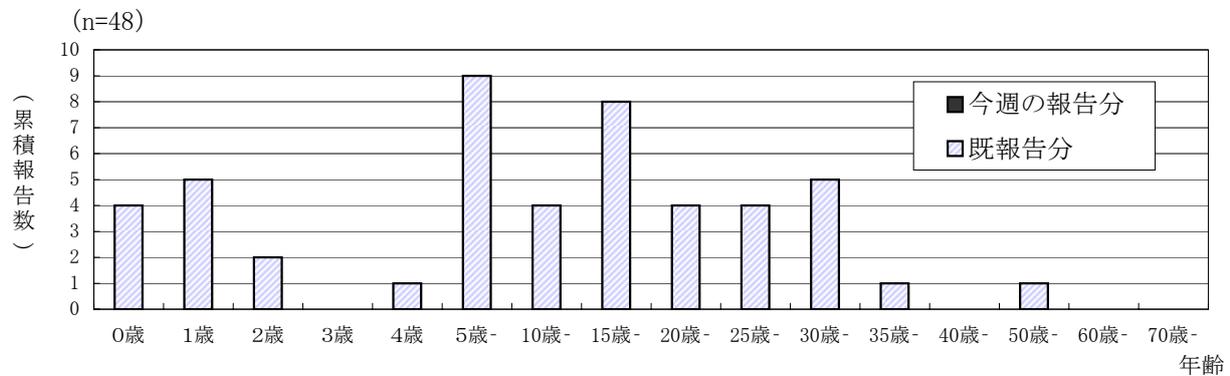
京都市独自の調査による、市内全医療機関を対象とした麻しん(成人麻しんを含む。)の報告数を掲載しています。5月25日から11月4日までの報告を初診週別に集計しています。(累積件数 48例)

1 患者所在地別推移

初診週別報告数の推移 (調査開始時～最新週まで)



2 年齢階級別



<参考> 感染症発生動向調査による定点医療機関からの報告数の推移

市内定点数:麻しん(小児科定点)41,成人麻しん(基幹定点)1

麻しん全数発生報告事業開始以前のデータについて、報告週別に集計したものを下記に掲載します。

・麻しん(15歳未満) 3例

・成人麻しん 0例

	第17週	第18週	第20週
報告数	1例	1例	1例
年齢階級	6ヶ月～11ヶ月	3歳	10～14歳

T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成19年第43週

疾病,保健所別報告数

平成19年10月22日～平成19年10月28日

データ入手日:平成19年11月6日

	(※)インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん(※)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	(※)クラミジア肺炎	成人麻しん
男女合計	-	-	-	-	7	3	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北	-	-	-	-	7	3	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	-	-	-	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	-	-	-	5	3	-	1	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
中京	-	-	-	2	6	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
東山	-	1	-	-	14	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	-	-	-	4	3	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	-	4	24	6	1	-	1	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	-	-	-	10	-	-	-	3	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-	-
伏見	-	2	-	2	27	2	1	-	1	1	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-
西京	1	-	-	10	33	4	-	-	2	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	1	3	-	20	132	23	4	1	10	2	-	4	-	4	-	8	-	-	-	-	-

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また、麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

疾病,保健所別定点当たり報告数

	(※)インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん(※)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	(※)クラミジア肺炎	成人麻しん
男女合計	-	-	-	-	1.75	0.75	-	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北	-	-	-	-	1.75	0.75	-	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	-	-	-	0.33	0.33	0.33	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	-	-	-	1.25	0.75	-	0.25	0.25	-	-	-	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-
中京	-	-	-	0.67	2.00	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-
東山	-	0.50	-	-	7.00	0.50	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	-	-	-	1.00	0.75	-	-	-	0.25	-	-	-	-	-	2.00	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	0.50	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	-	1.33	8.00	2.00	0.33	-	0.33	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	-	-	-	2.00	-	-	-	0.60	-	-	-	-	0.40	-	2.00	-	-	-	-	-
伏見	-	0.29	-	0.29	3.86	0.29	0.14	-	0.14	0.14	-	0.14	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-
西京	0.14	-	-	2.50	8.25	1.00	-	-	0.50	-	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	0.01	0.07	-	0.49	3.22	0.56	0.10	0.02	0.24	0.05	-	0.10	-	0.10	-	0.80	-	-	-	-	-

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また、麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

T3202

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成19年第43週

年齢階級, 疾病別報告数

平成19年10月22日～平成19年10月28日

データ入手日:平成19年11月6日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	80歳以上
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※)	年齢1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症		3	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		20	-	-	-	1	-	3	2	3	1	5	1	2	1	1						
感染性胃腸炎		132	1	17	22	14	14	5	5	13	7	3	3	10	4	14						
水痘		23	-	3	7	5	3	-	1	-	-	1	-	3	-	-						
手足口病		4	-	-	1	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
伝染性紅斑	年齢3	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
突発性発しん		10	-	6	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
百日咳		2	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-						
風しん		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ		4	-	-	-	2	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-						
麻しん(※)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
流行性耳下腺炎		4	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	1	-	-						
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	4	1	1	-	-	-
細菌性髄膜炎(※)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
成人麻しん		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また、麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	80歳以上
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※)	年齢1	0.01	-	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症		0.07	0.02	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.49	-	-	-	0.02	-	0.07	0.05	0.07	0.02	0.12	0.02	0.05	0.02	0.02						
感染性胃腸炎		3.22	0.02	0.41	0.54	0.34	0.34	0.12	0.12	0.32	0.17	0.07	0.07	0.24	0.10	0.34						
水痘		0.56	-	0.07	0.17	0.12	0.07	-	0.02	-	-	0.02	-	0.07	-	-						
手足口病		0.10	-	-	0.02	0.05	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
伝染性紅斑	年齢3	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
突発性発しん		0.24	-	0.15	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
百日咳		0.05	-	-	0.02	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-						
風しん		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ		0.10	-	-	-	0.05	-	-	0.02	-	-	0.02	-	-	-	-						
麻しん(※)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
流行性耳下腺炎		0.10	-	-	-	-	-	0.02	-	0.02	-	0.02	-	0.02	-	-						
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.80	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.20	0.40	0.10	0.10	-	-	-
細菌性髄膜炎(※)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
成人麻しん		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また、麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成19年第43週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成19年11月6日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※)	-	-	-	-	-	1
RSウイルス感染症	-	-	1	1	1	3
咽頭結膜熱	8	5	4	6	2	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	10	11	14	8	18	20
感染性胃腸炎	135	127	155	124	151	132
水痘	18	12	11	9	11	23
手足口病	3	7	2	3	5	4
伝染性紅斑	-	-	2	-	-	1
突発性発しん	21	22	20	11	16	10
百日咳	-	-	-	-	1	2
風しん	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	9	8	6	9	6	4
麻しん (※)	1	3	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	4	6	3	4	6	4
急性出血性結膜炎	-	-	-	1	-	-
流行性角結膜炎	1	6	2	1	-	8
細菌性髄膜炎 (※)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※)	-	-	-	-	-	-
成人麻しん	-	-	-	-	-	-
合計	210	207	220	177	217	212

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また、麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※)	-	-	-	-	-	0.01
RSウイルス感染症	-	-	0.02	0.02	0.02	0.07
咽頭結膜熱	0.20	0.12	0.10	0.15	0.05	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.24	0.27	0.34	0.20	0.44	0.49
感染性胃腸炎	3.29	3.10	3.78	3.02	3.68	3.22
水痘	0.44	0.29	0.27	0.22	0.27	0.56
手足口病	0.07	0.17	0.05	0.07	0.12	0.10
伝染性紅斑	-	-	0.05	-	-	0.02
突発性発しん	0.51	0.54	0.49	0.27	0.39	0.24
百日咳	-	-	-	-	0.02	0.05
風しん	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	0.22	0.20	0.15	0.22	0.15	0.10
麻しん (※)	0.02	0.07	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	0.10	0.15	0.07	0.10	0.15	0.10
急性出血性結膜炎	-	-	-	0.10	-	-
流行性角結膜炎	0.10	0.60	0.20	0.10	-	0.80
細菌性髄膜炎 (※)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※)	-	-	-	-	-	-
成人麻しん	-	-	-	-	-	-
合計	5.20	5.50	5.52	4.47	5.29	5.77

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また、麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。